

北空知定住自立圏

共生ビジョン

平成30年10月  
北海道深川市

# 目 次

## 第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

1 定住自立圏構想の概要とこれまでの取り組み	1
2 定住自立圏の名称及び構成市町村	1
3 定住自立圏共生ビジョンの目的	1
4 定住自立圏共生ビジョンの期間	1

## 第2章 圏域の概況

1 北空知圏域市町の概況	2
2 人口等の推移	5
3 都市機能の集積状況	6
4 都市機能の利用状況	9

## 第3章 圏域の将来像

## 第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

1 共生ビジョンの体系	11
2 具体的な取組	16
Ⅰ 生活機能の強化に係る政策分野	16
Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	42
Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	47

## 《資料編》

定住自立圏共生ビジョン策定経過	51
定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱	52
定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿	53

※平成31年5月以降の「新元号」については、今後政府から公表されますが、現段階での本ビジョン内の年号の表記については、「平成」表記のままとするもの。

現元号)	H30	H31	H32	H33	H34
新元号)		〇元	〇2	〇3	〇4
西 曆 )	2018	2019	2020	2021	2022

# 第1章 定住自立圏共生ビジョンの策定にあたって

## 1 定住自立圏の概要とこれまでの取り組み

定住自立圏構想は、圏域の中心的な役割を担う中心市と近隣市町村が、相互に役割分担して連携・協力することにより、地域の持つ様々な資源と地域力を高め、圏域全体が魅力あふれる地域づくりと安全で安心して暮らせる地域社会を形成することを目的とした自治体連携の取り組みで、「定住自立圏構想推進要綱」（総務省）により平成21年度にスタートしました。

総務省は、その後、同要綱を平成25年3月に改正し、定住自立圏の一類型として「多自然型」を新設し、平成29年10月の同要綱の改正により、人口条件が平成27年国勢調査の数値により判断することとなったことにより、深川市が中心市としての要件を満たすことになりました。

このことを受けて、北空知では、定住自立圏構想の推進にあたっての情報収集・調査検討を行うとともに、定住自立圏の形成に向け準備を進めてきました。

深川市は、平成30年3月1日、圏域における中心的な役割を担う意思を表明する「中心市宣言」を行い、その後、圏域町村と定住自立圏形成に関する取り組み内容等について協議を進めてきた結果、取り組みに関する基本的な協議が整い、各市町議会の議決を経て、同年6月28日、深川市と圏域4町それぞれとの間で、1対1の定住自立圏形成協定を締結しました。

## 2 定住自立圏の名称及び構成市町村

### (1) 定住自立圏の名称

北空知定住自立圏

### (2) 定住自立圏を構成する市町の名称

深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町

## 3 定住自立圏共生ビジョンの目的

本共生ビジョンは、定住自立圏構想推進要綱（平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知）第6の規定により、本圏域の将来像や協定に基づき関係市町村が連携して推進していく具体的取組の内容を明らかにするものです。

## 4 定住自立圏共生ビジョンの期間

本共生ビジョンの期間は、平成30年度から平成34年度までの5年間とし、必要に応じて、所要の見直しを行います。

## 第2章 圏域の概況

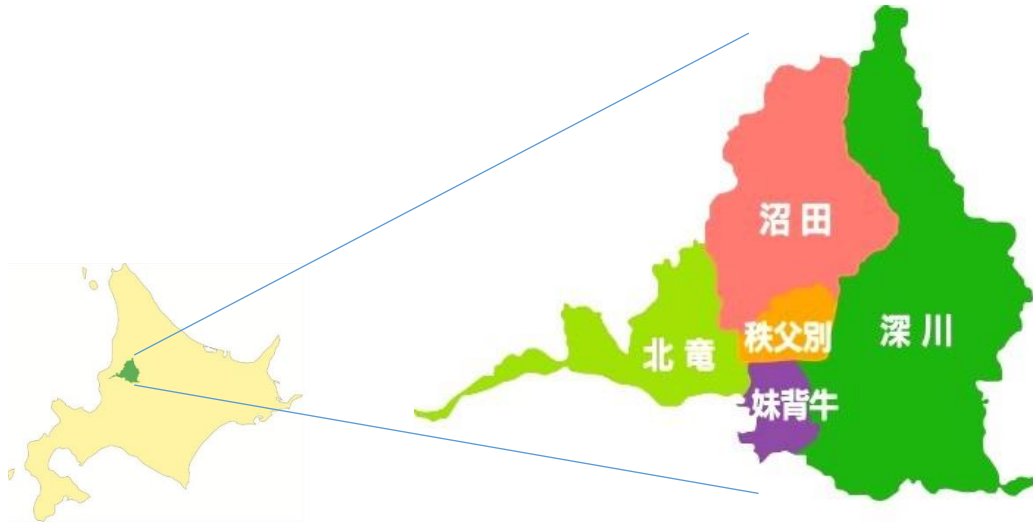
### 1 北空知圏域市町の概況

圏域の人口 32,675 人


圏域の面積 1,067.29 km<sup>2</sup>


(平成27年度国勢調査)


(国土交通省国土地理院 平成29年全国都道府県市区町村別面積調より)



### ○各市町の概況

	<h2>深川市</h2>	<p>人口：21,909 人 面積：529.42 km<sup>2</sup></p>	<p>【市の見どころ・特産品】</p>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふかがわシードル</li> <li>○丸山公園（カタクリ群生）</li> </ul>
<p>深川市は北海道のほぼ中央に位置し、札幌と旭川を結ぶ国道12号線が市内を走り、深川から国道233号線が分岐して留萌に通じているほか、道央自動車道によって札幌や新千歳空港への交通アクセスにも恵まれた交通の要衝となつていいます。</p>			
<p>また、本市の北部から南に雨竜川が、南部には、北海道第一の長流石狩川が貫流し、この両河川を中心に両翼に開ける平地に市街地と水田、畑が形成されています。</p>			
<p>深川市の基幹産業は、農業であり石狩川と雨竜川の流域に広がる肥沃な土壌と恵まれた気象条件のもと道内有数の稲作地帯であり、「ふっくりんこ」、「ななつぼし」などを中心に消費者ニーズに即した生産流通に努め、道内における良質良食味米の主産地として高い評価を受けています。</p>			
<p>現在は、「人口減少に負けない 元気あふれるまち」を目指して、子育て支援の各種施策をはじめ、養豚や「深川シードル」醸造など農業の新分野の開拓にも力を入れ、まちづくりを推進しています。</p>			

	<h2 style="text-align: center;">妹背牛町</h2> <p style="text-align: right;">人口：3,091 人 面積：48.64 km<sup>2</sup></p>	<p>【町の見どころ・特産品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○妹背牛町カーリングホール</li> <li>○妹背牛町産ななつぼし「プレミアム北彩香」</li> </ul>
<p>妹背牛町は、総面積が北海道では3番目に小さな山のないまちで、北海道の母なる川「石狩川」が流れ、おいしいお米をつくるのに適した肥沃な大地が広がっています。</p> <p>明治36年に開拓の鍬が下ろされ、先祖先人のたゆまぬ努力により着実に発展を遂げ、道内屈指の良質米の生産地としてその名を誇っています。</p> <p>基幹産業である稲作を中心とした農業、住民の生活を支える地域密着型商店街を形成している商業、本町ならではの物づくりで雇用の充実を図っている工業、それぞれが本町の経済を支えています。</p> <p>農業・商業・工業に加え、源泉かけ流しで良質な泉質の「妹背牛温泉ペペル」や「カーリングホール」・「パークゴルフ場」が併設された「遊水公園うらら」などの観光資源を有機的に結びつけ、各分野の経済的効果が波及・循環されていく仕組みづくりを目指しています。</p> <p>住民が「やすらぎ」や「ふれあい」を実感し、まちを訪れる人々が「ぬくもり」を感じることで、地域住民をはじめ、企業や団体、行政が「協働」してまちづくりを進めています。</p>		

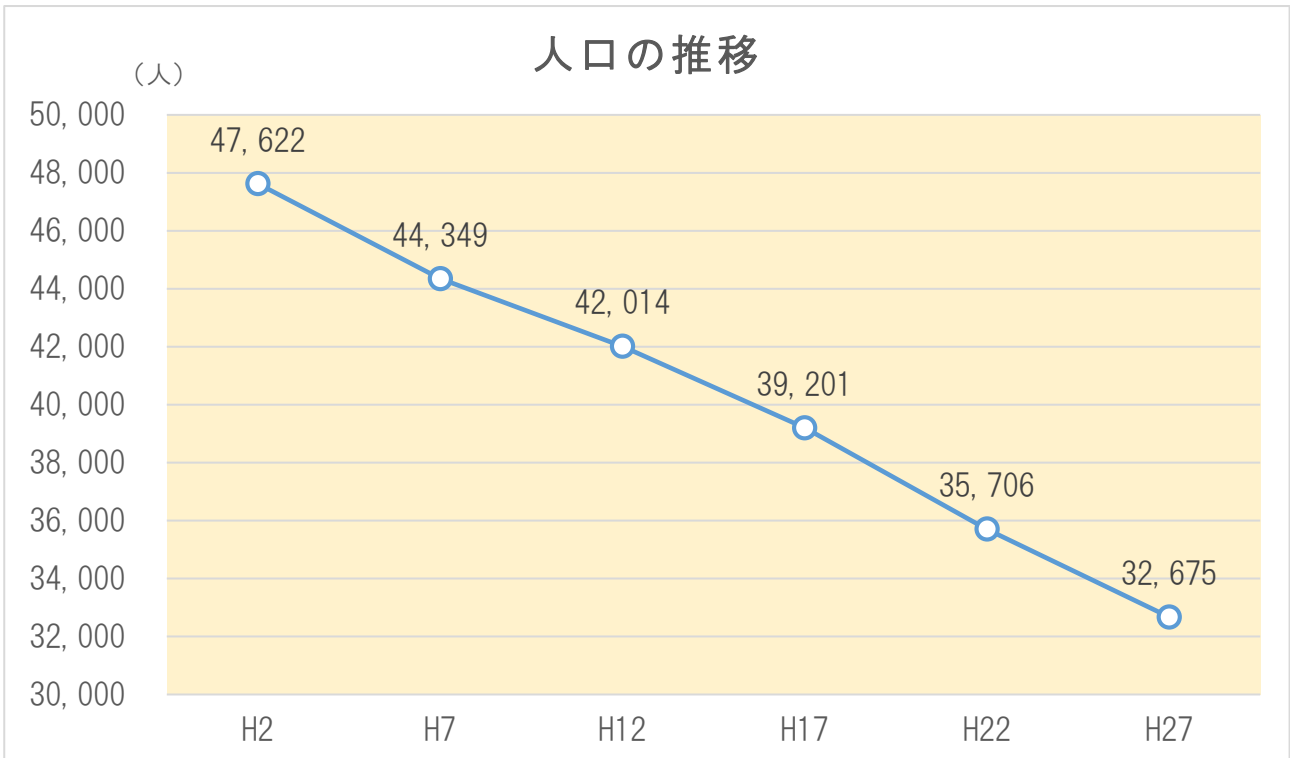
	<h2 style="text-align: center;">秩父別町</h2> <p style="text-align: right;">人口：2,513 人 面積：47.18 km<sup>2</sup></p>	<p>【町の見どころ・特産品】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○こども屋内遊戯場「キッズスクエア ちっくる」</li> <li>○秩父別町産プロッコリー</li> </ul>
<p>秩父別町は明治28・29年に北方警備の任務を帯びた屯田兵とその家族の入植によって拓かれたまちです。原生林を切り開き沼地を排水しながら開墾、先祖先人の逞しい開拓精神と弛まぬ努力によって着実に発展を遂げ、「日本の米づくり百選の地」に選ばれるなど、道内屈指の良質米の産地としてその名を誇っています。</p> <p>本町では、従来から人口の確保を最重要課題として、国が進める「地方創生」に先駆け、「住んで良かった」「住み続けたい」と思えるまちづくりに果敢に取り組んでまいりました。</p> <p>こども屋内遊戯場「キッズスクエア ちっくる」や屋外遊戯場「キュービックコネクション」には、町内をはじめ道内各地大勢の親子連れにお越しいただいています。</p> <p>今後においても人口の確保を最重要課題に掲げ、次世代につながる「まちづくり」に対し、町民、議会、行政が協働し、その気運と輝きの連鎖を絶やすことなく、「人口増加は一人でも多く、人口減少は一人でも少なく」に向け、果敢に取り組んでまいります。</p>		

	北 竜 町	人口：1,981 人 面積：158.70 km <sup>2</sup>	【町の見どころ・特産品】
			○ひまわりの里 ○ひまわりライス
<p>北竜町は北海道のやや中央にあり、空知管内の北部に位置している。国道 275 号線が南北に、国道 233 号線と道道 94 号線が東西に走っており、車で札幌まで 2 時間、旭川まで 1 時間に位置するまちです。</p> <p>暑寒別岳を主峰とする増毛山脈と、その支脈が町内を走り、全面積の 70% が山林となっています。雨竜川他三川流域を主として肥沃な土地と豊かな水資源のもと、稲作を基幹作物とした「あかるい農法」のまちである。稲作については、低農薬、有機肥料等のクリーン農業により生産され米は「ひまわりライス」の名で JAS 規格を取得して販売されています。</p> <p>また、水田転作により果菜類やひまわりの作付けも盛んで北竜ひまわりメロン（北竜産龍の鈴）、北竜ひまわりすいか（黄色小玉西瓜）は道内でも有数の生産地となっています。</p> <p>昭和 55 年よりひまわりをまちのシンボルに掲げ、ひまわりによるまちづくりに取り組み、最近ではひまわりが観光として一躍脚光を浴びて、開花シーズンには 30 万人以上の観光客が訪れるようになっています。</p>			

	沼 田 町	人口：3,181 人 面積：283.35 km <sup>2</sup>	【町の見どころ・特産品】
			○ほたるの里 ○「夜高あんどん祭り」
<p>北海道のほぼ中央、空知総合振興局管内の北西部に位置している沼田町は、山は青く水は清い豊かな自然に包まれた町です。</p> <p>南部の平坦部は広大な石狩平野の北端の一部で肥沃な水田地帯となっており、市街地や農耕地はこの平坦部を流れる雨竜川や小河川の流域に沿って南に開けています。また西側は牧場、畑作地帯、他の二方は山岳地帯で占められています。</p> <p>気候は内陸型で四季の区別がはっきりしており、自然を通して季節の変わりゆくさまを感じることができます。</p> <p>石狩平野の最北部に位置し、かつては炭鉱と稲作の町として繁栄してきましたが、昭和 43 年に雨竜炭鉱が閉山し、その後稲作中心の農業の町へと転換しました。</p> <p>平成 11 年には NHK 連続テレビ小説「すずらん」のロケ地として全国的に有名となり、現在では雪のエネルギー利活用や 7 月上旬から幌新地区で見られるほたる、8 月には北海道 3 大あんどん祭りの一つとして知られる「夜高あんどん祭り」など元気な沼田町を全国へ PR しています。</p>			

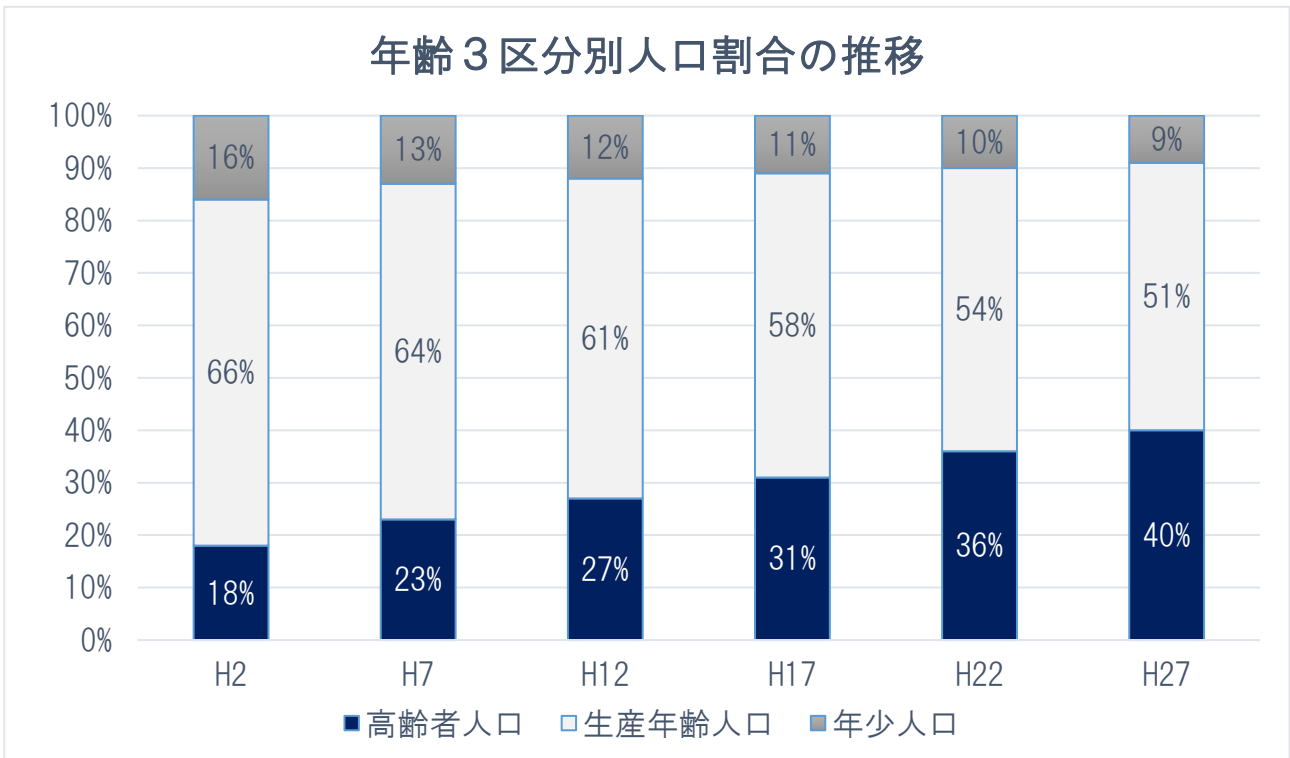
## 2 人口等の推移

○人口の推移



(各年国勢調査)

○年齢3区分別人口割合の推移



(各年国勢調査)

※高齢者人口 (65歳以上)・生産年齢人口 (15~64歳)・年少人口 (15歳未満)

### 3 都市機能の集積状況

深川市における公共施設等による各種サービス機能、医療機能、商業・娯楽機能その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は、概ね次のとおりです。

分類	都市機能	施設名
行政機関	国の機関	札幌開発建設部 深川道路事務所 札幌開発建設部 深川農業事業所 深川簡易裁判所 旭川家庭裁判所 深川出張所 深川税務署 空知森林管理署北空知支署 深川森林事務所 滝川公共職業安定所 深川分室
	北海道の機関	空知総合振興局 〔 深川道税事務所 深川社会福祉事務出張所 空知農業改良普及センター 北空知支所 深川地域保健室 北部耕地出張所 札幌建設管理部 深川出張所 〕 深川警察署 ネイパル深川 北海道企業局鷹泊発電管理事務所
医療・福祉	医療機関	病院 5 施設、診療所 11 施設、歯科診療所 13 施設
	公的機関	深川市立病院 〔 地域センター病院 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 救急指定病院（二次医療） 労災指定病院 北海道がん診療連携指定病院 各法律・医療指定機関（生活保護法、結核予防法、 母子保健法、更生医療、養育医療、育成医療、 第二種感染症） 〕
	子育て施設 （児童福祉施設）	保育所（市立3施設、社会福祉法人立6施設） 深川市児童センター 深川市子育て支援センター 深川市療育センター 障がい児通所施設 2 施設
	高齢者福祉施設	特別養護老人ホーム 2 施設 老人保健施設 1 施設 その他 22 施設 老人いこいの家 2 施設 深川市地域包括支援センター 深川市老人福祉センター



分類	都市機能	施設名
医療・福祉	障がい者福祉施設	相談支援事業施設 1 施設 生活介護施設 8 施設 就労継続支援施設 4 施設 施設入所支援施設 1 施設 その他 6 施設
	その他の施設	深川市健康福祉センター（デ・アイ） 深川市働く婦人の家
教育・文化・スポーツ	短期大学	拓殖大学北海道短期大学
	専修学校・ほか	深川市立高等看護学院 深川医師会附属准看護学院
	高等学校	北海道深川西高等学校 北海道深川東高等学校 クラーク記念国際高等学校
	幼稚園	私立幼稚園 2 施設
	文化・社会教育施設	文化交流ホール（み・らい） 公民館 7 施設 ぬくもりの里芸術文化交流施設（向陽館・向陽館別館） アートホール東洲館 生きがい文化センター（市立図書館）
	スポーツ施設	深川市総合体育館 深川市民球場 深川市民テニスコート 深川市陸上競技場 深川市温水プール（ア・エール） 石狩緑地野球場 A・B 石狩緑地サッカー場 石狩緑地運動場（サッカー・ラグビー兼用） グライダー滑空場 深川農村公園（テニスコート） パークゴルフ施設 6 施設
	宿泊施設	深川市学びと集いの郷 音江広里交流館（エフパシオ）
産業	商業施設	大規模商業施設 9 店舗 （店舗床面積 1,000 m <sup>2</sup> 以上）
	観光施設	深川市都市農村交流センター（アグリ工房まあぶ） 深川市地域資源活用施設（アップルランド山の駅おとえ） 深川市オートキャンプ場（まあぶオートキャンプ場） 深川市いざないの里 道の駅（ライスランドふかがわ）
	金融機関	北洋銀行 北空知信用金庫 空知商工信用組合 ゆうちょ銀行 きたそらち農業協同組合

分類	都市機能	施設名
産業	その他施設	経済センター 深川市労働福祉会館 深川市林業センター 深川市農業センター
生活	消費生活相談	深川地域消費者センター
交通機関	鉄道	JR 函館本線 JR 留萌本線（深川駅、納内駅、北一已駅）
	国道	国道12号、233号、275号
	自動車専用道	北海道縦貫自動車道（深川JCT、音江IC、音江PA） 深川留萌自動車道（深川西IC）
	長距離バス	留萌⇄（深川）⇄札幌 旭川⇄（納内）⇄札幌
広域組織		きたそらち農業協同組合 北海道中央農業共済組合 北空知広域農業協同組合連合会 北空知森林組合
	一部事務組合	北空知衛生センター組合（ごみ処理施設、し尿処理施設） 深川地区消防組合（消防庁舎） 北空知葬斎組合（葬斎場） 北空知圏学校給食組合（きたそランチ）

#### 4 都市機能の利用状況

##### (1) 地域センター病院（深川市立病院）の患者数

〈外来延べ患者数〉

	患者数（人）	構成比（％）
深川市	80,598	70.4%
妹背牛町	9,112	7.9%
秩父別町	8,103	7.1%
北竜町	4,332	3.8%
沼田町	7,640	6.7%
その他	4,709	4.1%
合計	114,494	100.0%

平成29年度調査

〈入院延べ患者数〉

	患者数（人）	構成比（％）
深川市	38,280	63.7%
妹背牛町	5,156	8.6%
秩父別町	4,486	7.5%
北竜町	2,413	4.0%
沼田町	4,575	7.6%
その他	5,198	8.6%
合計	60,108	100.0%

平成29年度調査

〈救急患者数〉

	患者数（人）	構成比（％）
深川市	3,086	64.9%
妹背牛町	382	8.0%
秩父別町	308	6.5%
北竜町	237	5.0%
沼田町	363	7.6%
その他	381	8.0%
合計	4,757	100.0%

平成29年度調査

##### (2) 通勤・通学者数及び割合

	常住する 従業者数 (人) ※自宅従業者数を除く	深川市への従業者数		常住する 通学者数 (人)	深川市への通学者数	
		(人)	左の割合 (%)		(人)	左の割合 (%)
妹背牛町	867	229	26.4%	108	33	30.6%
秩父別町	736	166	22.6%	99	37	37.4%
北竜町	550	69	12.5%	73	39	53.4%
沼田町	1,070	127	11.9%	95	34	35.8%

平成27年度国勢調査（従業者数、通学者数は15歳以上の数値）

##### (3) 北空知衛生センター組合 市町別ごみ搬入状況

	搬入量（ト）	構成比（％）
深川市	6,779	71.3%
妹背牛町	794	8.4%
秩父別町	658	6.9%
北竜町	519	5.5%
沼田町	754	7.9%
合計	9,504	100.0%

平成29年度調査

### 第3章 圏域の将来像

我が国は、人口減少社会へ本格的に突入し、少子高齢化の急速な進行や、産業・経済のグローバル化など、これまでに経験したことのない大きな転換期を迎えています。地方においても人口減少の加速や地域経済の低迷など、地方自治体を取り巻く環境はますます厳しいものとなっており、地方自治体の効率的かつ効果的な行政システムの構築が求められています。

北空知圏域は、暑寒別天売焼尻国定公園をはじめとして美しく豊かな自然環境に恵まれた多自然地域であるとともに、石狩川と雨竜川の流域地帯に位置し、肥沃な大地と水資源に恵まれた、本道の代表的な稲作地帯を形成しています。

深川市と近隣の妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町の1市4町で形成する北空知圏域は、開拓時から自治体間のつながりが深く、昭和46年には「北空知圏振興協議会」を設立して市町間の連携に努め、現在では、消防、水道、ごみ・し尿処理、葬斎、学校給食を一部事務組合によって共同処理するとともに、旅券・戸籍の事務委託や介護・障がい者の認定審査会の共同設置など、各分野における協力連携に取り組んできました。

将来に向けて、複雑多様化する課題に対応しながら、北空知圏域が持続的に発展していくためには、単独自治体での事業展開に加え、圏域の市町それぞれが持つ都市機能や地域資源を有効に活用し合いながら、様々な課題に対して相互に連携し、圏域全体で生活に必要な機能を充実・確保することが、これまで以上に重要となっています。

具体的には、圏域の基幹産業である農業の振興においては、農村が持つ多様な機能を活かした農村の維持と活性化、多様な担い手の育成・確保、経営の発展に向けた多様な取り組み、環境と調和のとれた安全・安心な農業生産の推進を図るとともに、また、子どもから高齢者まで安心で生きがいと潤いの持てる生活をおくることができるよう、医療・福祉体制の確保、教育環境の充実など、全ての住民が住み慣れた地域で暮らし続けることができる圏域づくりを進めます。

さらに、圏域内外を結ぶ交通ネットワークの構築などにより、日常の消費活動、福祉・医療サービス、農業・商業・観光の振興、教育文化及び健康・スポーツ活動などにおける交流人口の拡大や圏域への人の流入を促進するとともに、地域を支える人材育成にも努め、圏域を構成する市町が互いに協力・連携しながら、地域資源を活かした魅力あふれる地域づくりを推進します。

#### 【圏域人口目標】

平成22年 (実績)	平成27年 (実績)	平成52年 (社人研推計)	⇒	平成52年 (目標)
35,706人	32,675人	18,318人		23,121人

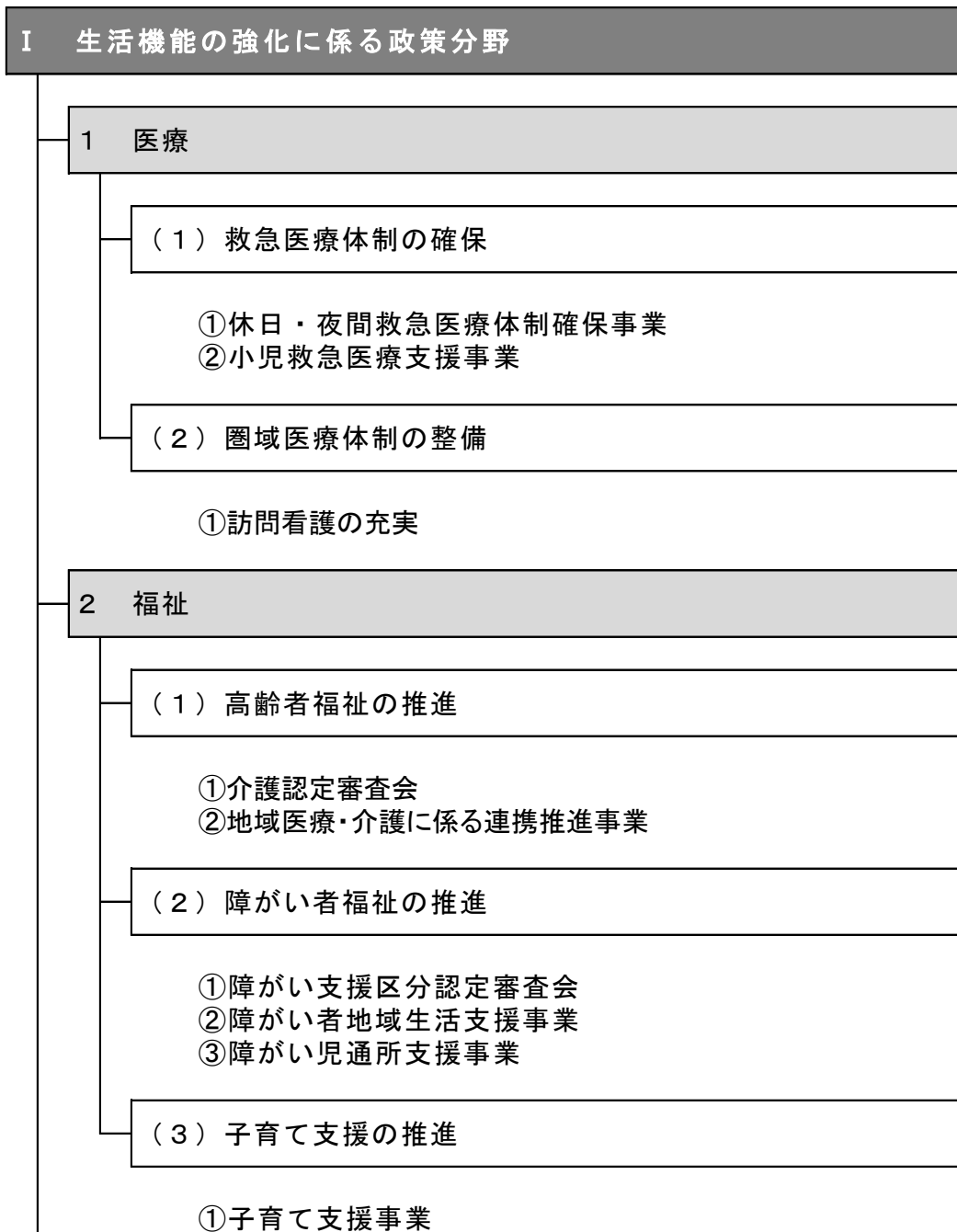
#### 【高齢化率の目標】

平成22年 (実績)	平成27年 (実績)	平成52年 (社人研推計)	⇒	平成52年 (目標)
35.6%	40.3%	52.9%		44.4%

出典：国勢調査(H22、H27)、国立社会保障・人口問題研究所(H30)「日本の地域別将来人口推計」、構成市町人口ビジョン

# 第4章 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的な取組

## 1 共生ビジョンの体系



### 3 教育

#### (1) 学校教育の推進

- ①いじめ問題対策
- ②学校給食施設の共同使用
- ③公立高等学校の維持・確保

#### (2) 生涯学習の推進

- ①文化・スポーツ施設の相互利用
- ②学習活動の促進

### 4 産業振興

#### (1) 農業振興

- ①農業振興
- ②農業の担い手育成

#### (2) 商工・観光振興

- ①商工振興
- ②観光振興

#### (3) 特産品の開発・普及

- ①特産品の開発・普及

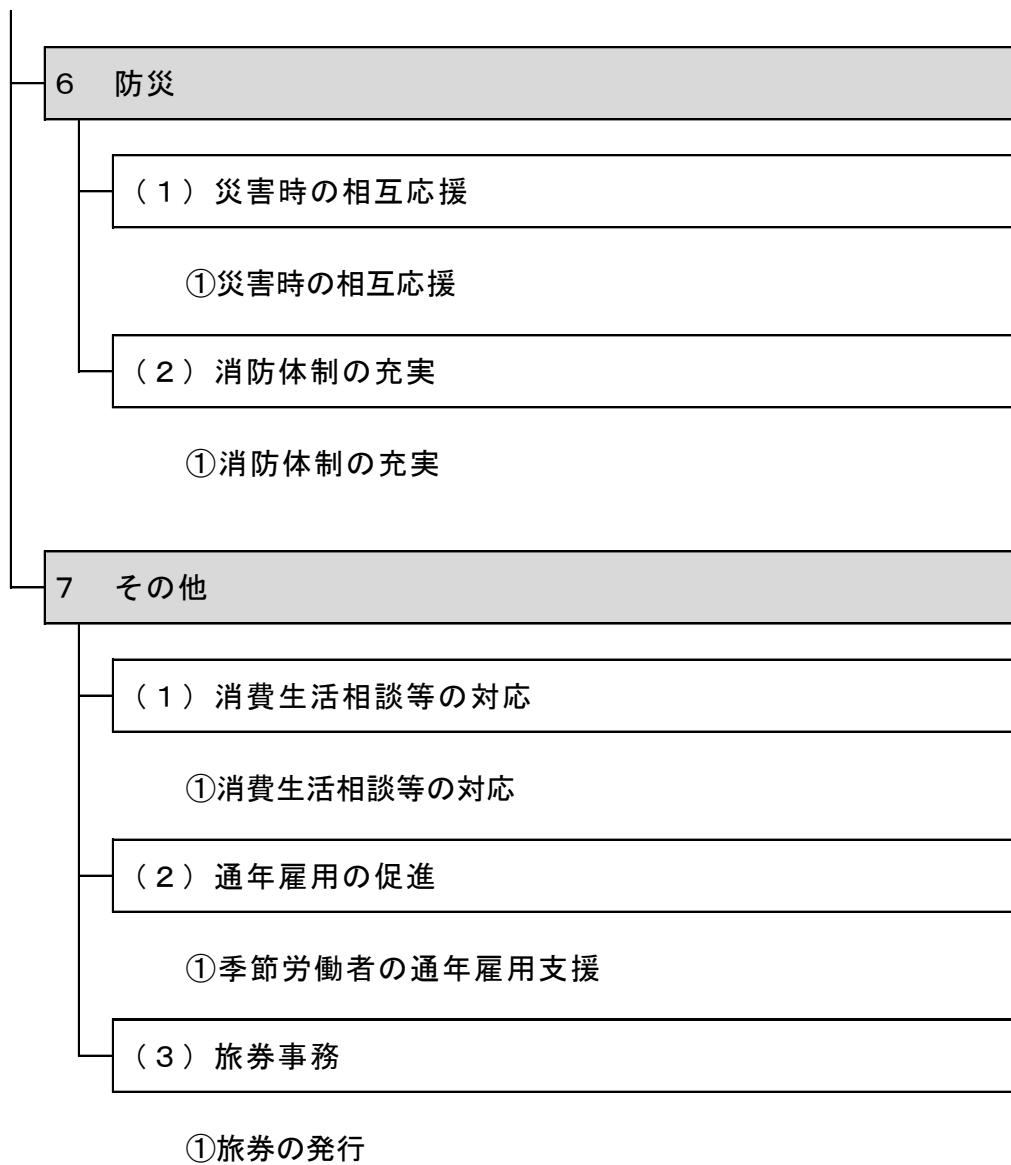
### 5 水道・衛生

#### (1) 水道施設の共同使用

- ①上水道事業の広域経営

#### (2) 衛生施設の共同使用

- ①ごみ処理及びし尿処理施設の共同使用
- ②火葬施設の共同使用



II 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

1 地域公共交通

(1) 多様な公共交通の確保

- ①バス路線の維持・確保
- ②鉄道の維持・確保

2 道路等の交通インフラの整備

(1) 交通ネットワークの形成

- ①期成会活動の推進

3 移住・定住促進

(1) 移住・定住の促進

- ①移住・定住の促進

4 その他

(1) ICTの活用

- ①戸籍総合システムの共同利用



### Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### 1 人材育成

##### (1) 人材の育成

- ①青少年のリーダー育成
- ②社会人の人材育成

#### 2 職員の情報交換等

##### (1) 職員の情報交換等

- ①職員の情報交換・調査研究・研修

## 2 具体的な取組

### I 生活機能の強化に係る政策分野

#### 1 医療

##### (1) 救急医療の確保

協定の 内容	(取組の内容) 住民が安心して必要な医療が受けられるよう、休日・夜間及び小児等の救急医療体制を維持・確保する。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係機関と連携し、圏域における救急医療体制の連携のため、中心的な役割を担う。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係機関と連携し、圏域における救急医療体制の連携のため、初期救急医療の確保に努める。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
		休日・夜間に対応可能な 二次救急の当番医療機関 数	1 施設 (平成29年度)

##### ①休日・夜間救急医療体制確保事業

事業概要	地域住民の生命と健康を守るため、北空知1市4町は深川医師会、深川市立病院及び深川地区消防組合等と協働し、休日・夜間の救急診療体制の維持・確保を実施する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

##### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
休日・夜間救急医療体制確保事業	深川市	40,227	40,227	40,227	40,227	40,227	201,135
休日・夜間救急医療体制確保事業	妹背牛町	4,016	4,016	4,016	4,016	4,016	20,080
休日・夜間救急医療体制確保事業	秩父別町	3,533	3,533	3,533	3,533	3,533	17,665
休日・夜間救急医療体制確保事業	北竜町	1,890	1,890	1,890	1,890	1,890	9,450
休日・夜間救急医療体制確保事業	沼田町	2,712	2,712	2,712	2,712	2,712	13,560
	合計	52,378	52,378	52,378	52,378	52,378	261,890

②小児救急医療支援事業

事業概要	地域の小児の生命と健康を守るため、上川中部圏域の小児二次救急医療機関である旭川厚生病院へ受入を依頼する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	小児救急医療支援事業費道補助金

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
小児救急医療支援事業	深川市	2,493	2,493	2,493	2,493	2,493	12,465
小児救急医療支援事業	妹背牛町	76	76	76	76	76	380
小児救急医療支援事業	秩父別町	61	61	61	61	61	305
小児救急医療支援事業	北竜町	49	49	49	49	49	245
小児救急医療支援事業	沼田町	78	78	78	78	78	390
	合計	2,757	2,757	2,757	2,757	2,757	13,785

(2) 圏域医療体制の確保

協定の内容	(取組の内容) 住民が安心して必要な医療が受けられるよう、圏域の医療体制を維持・確保する。
	(甲の役割：深川市) 甲の地域における医療体制の維持・確保及び圏域が抱える地域医療の課題解決に向け、乙と連携し、その中心的な役割を担う。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 乙の地域における医療体制の維持・確保及び圏域が抱える地域医療の課題解決に向け、甲と連携する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	目標値(達成年度)
	訪問看護利用者数	52人 (平成29年度)	60人 (平成34年度)

①訪問看護の充実

事業概要	深川市立病院訪問看護ステーションみのりを運営し、圏域住民の在宅等における療養生活の支援を行う。
役割分担	深川市立病院が開設し、各町が住民に情報提供を行う。
補助制度等	在宅医療提供体制強化事業費補助金(在宅医療推進事業)[道費]

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
深川市立病院訪問看護ステーションみのり運営	深川市	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	180,000
	合計	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	180,000

## 2 福祉

### (1) 高齢者福祉の推進

協定の内容	(取組の内容) 人材確保による業務の安定化と効率化を図るため、介護認定審査会を共同設置するとともに、高齢者等の地域医療及び介護サービスの提供体制を整える。
	(甲の役割：深川市) 乙と共同で設置する介護認定審査会の事務局として、当該審査会の運営を行うとともに、乙や関係機関と連携し、高齢者に対して地域医療及び介護サービスを提供する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と共同で設置する介護認定審査会の運営に協力するとともに、甲や関係機関と連携し、高齢者に対して地域医療及び介護サービスを提供する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	介護認定審査件数	2,325件 (平成29年度)	2,325件 (平成34年度)

#### ①介護認定審査会

事業概要	「深川市ほか4町介護認定審査会」を北空知1市4町が共同設置し、運営することにより、認定審査を効率的・円滑に推進する。
役割分担	深川市に事務局を置き、各市町は必要な経費を負担する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
介護認定審査会	深川市	9,083	9,083	9,083	9,083	9,083	45,415
介護認定審査会	妹背牛町	1,695	1,695	1,695	1,695	1,695	8,475
介護認定審査会	秩父別町	1,350	1,350	1,350	1,350	1,350	6,750
介護認定審査会	北竜町	1,257	1,257	1,257	1,257	1,257	6,285
介護認定審査会	沼田町	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	7,400
	合計	14,865	14,865	14,865	14,865	14,865	74,325

②地域医療・介護に係る連携推進事業

事業概要	北空知第二次保健医療福祉圏における地域医療及び介護サービスの提供体制の確保を図る。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	地域支援事業交付金（介護予防事業・包括事業）[国費・道費]

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
地域医療・介護連携推進事業	深川市	10,945	10,945	10,945	10,945	10,945	54,725
地域リハビリテーション活動 支援事業	深川市	9,341	9,341	9,341	9,341	9,341	46,705
地域医療・介護連携推進事業	妹背牛町	1,624	1,624	1,624	1,624	1,624	8,120
地域リハビリテーション活動 支援事業	妹背牛町	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	5,600
地域医療・介護連携推進事業	秩父別町	1,489	1,489	1,489	1,489	1,489	7,445
地域リハビリテーション活動 支援事業	秩父別町	941	941	941	941	941	4,705
地域医療・介護連携推進事業	北竜町	1,410	1,410	1,410	1,410	1,410	7,050
地域リハビリテーション活動 支援事業	北竜町	838	838	838	838	838	4,190
地域医療・介護連携推進事業	沼田町	1,623	1,623	1,623	1,623	1,623	8,115
地域リハビリテーション活動 支援事業	沼田町	1,119	1,119	1,119	1,119	1,119	5,595
	合計	30,450	30,450	30,450	30,450	30,450	152,250

(2) 障がい者福祉の推進

協定の内容	(取組の内容) 人材確保による業務の安定化と効率化を図るため、障がい支援区分認定審査会を共同設置するとともに、障がい者及び障がい児が地域で自立した生活を営むことができるよう、障がい福祉に関するシステムづくりを進める。
	(甲の役割：深川市) 乙と共同で設置する障がい支援区分認定審査会の事務局として、当該審査会の運営を行うとともに、乙や関係機関と連携し、障がい者等に対する地域生活支援事業等に取り組む。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と共同で設置する障がい支援区分認定審査会の運営に協力するとともに、甲や関係機関と連携し、障がい者等に対する地域生活支援事業等に取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	障がい者認定区分件数	88件 (平成29年度)	90件 (平成34年度)

①障がい支援区分認定審査会

事業概要	「北空知障がい支援区分認定審査会」を北空知1市4町で共同設置し、運営することにより、認定審査を効率的・円滑に推進する。
役割分担	深川市に事務局を置き、各市町は必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
障がい支援区分認定審査会	深川市	1,684	1,684	1,684	1,684	1,684	8,420
障がい支援区分認定審査会	妹背牛町	301	301	301	301	301	1,505
障がい支援区分認定審査会	秩父別町	231	231	231	231	231	1,155
障がい支援区分認定審査会	北竜町	219	219	219	219	219	1,095
障がい支援区分認定審査会	沼田町	258	258	258	258	258	1,290
	合計	2,693	2,693	2,693	2,693	2,693	13,465

②障がい者地域生活支援事業

事業概要	障がいのある方が、地域で自立した生活を営むことができるよう、地域の実情や障がいの状況に応じた支援を行う。
役割分担	北空知障がい者支援センター「あつぷる」に委託し、各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	障がい者地域生活支援事業等補助金〔国費・道費〕

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
障がい者地域生活支援事業	深川市	47,244	47,244	47,244	47,244	47,244	236,220
障がい者地域生活支援事業	妹背牛町	3,956	3,956	3,956	3,956	3,956	19,780
障がい者地域生活支援事業	秩父別町	3,743	3,743	3,743	3,743	3,743	18,715
障がい者地域生活支援事業	北竜町	3,289	3,289	3,289	3,289	3,289	16,445
障がい者地域生活支援事業	沼田町	3,981	3,981	3,981	3,981	3,981	19,905
	合計	62,213	62,213	62,213	62,213	62,213	311,065

③障がい児通所支援事業

事業概要	北空知1市4町の共同で、深川市健康福祉センター「デ・アイ」内に開設している療育センターにおいて、心身やことばの発達に心配のある児童とその家族に対して相談や発達の支援を行うとともに、児童発達支援事業や保育所等訪問支援事業を実施し、早期療育に努める。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
療育センター運営事業	深川市	35,299	35,299	35,299	35,299	35,299	176,495
療育センター運営事業	妹背牛町	1,579	1,579	1,579	1,579	1,579	7,895
療育センター運営事業	秩父別町	1,228	1,228	1,228	1,228	1,228	6,140
療育センター運営事業	北竜町	1,333	1,333	1,333	1,333	1,333	6,665
療育センター運営事業	沼田町	1,588	1,588	1,588	1,588	1,588	7,940
	合計	41,027	41,027	41,027	41,027	41,027	205,135

(3) 子育て支援の推進

協定の 内容	(取組の内容) 人口減少を食い止め、圏域への定住を図るため、妊娠、出産、育児にわたる切れ目のない支援を推進する。
	(甲の役割：深川市) 乙と連携し、子育て支援の情報を共有して圏域内外に情報を発信する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と連携し、子育て支援の情報を共有して圏域内外に情報を発信する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	北空知圏域における保育 所数	13 施設 (平成29年度)	12 施設* (平成34年度)

※深川市内の保育園(深川・一已)を統合新設予定のため、目標値を1減とするもの。

①子育て支援事業

事業概要	妊娠・出産・育児等の各シーンに応じて切れ目のない支援の推進のため、様々な施策を層状に実施し、安心して子供を産み育てられる環境づくりを図る。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	乳幼児等医療費給付事業補助金 [道費] 妊産婦安心出産支援事業費補助金 [道費]

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
特定不妊治療費助成金等	深川市	2,611	2,611	2,611	2,611	2,611	13,055
妊婦健康診査通院等支援事業	深川市	4,260	4,260	4,260	4,260	4,260	21,300
子ども医療費支給事業	深川市	60,085	60,085	60,085	60,085	60,085	300,425
学校給食費助成事業	妹背牛町	3,982	3,982	3,982	3,982	3,982	19,910
高校通学費等支援事業	妹背牛町	1,752	1,752	1,752	1,752	1,752	8,760
乳幼児等医療費助成事業	妹背牛町	4,390	4,390	4,390	4,390	4,390	21,950
出産1年後祝金交付事業	秩父別町	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	11,500
子育て支援水道料金助成事業	秩父別町	5,534	5,534	5,534	5,534	5,534	27,670
乳幼児等医療費助成事業	秩父別町	6,920	6,920	6,920	6,920	6,920	34,600
妊婦健診費等助成事業	秩父別町	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	8,250
妊婦健診交通費助成事業	秩父別町	328	328	328	328	328	1,640
不妊治療費助成事業	秩父別町	250	250	250	250	250	1,250
高等学校等通学等助成事業	北竜町	3,276	3,276	3,276	3,276	3,276	16,380
妊婦健康診査費助成事業	北竜町	1,277	1,277	1,277	1,277	1,277	6,385
妊婦健康診査交通費助成事業	北竜町	320	320	320	320	320	1,600
妊婦歯科健康診査助成事業	北竜町	15	15	15	15	15	75
妊婦産後健康診査費助成事業	北竜町	100	100	100	100	100	500

(次頁へつづく)



各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
乳幼児等医療費一部負担金助成事業	北 竜 町	3,887	3,887	3,887	3,887	3,887	19,435
入学祝金支給事業	北 竜 町	600	600	600	600	600	3,000
学校給食費助成事業	北 竜 町	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	13,000
放課後児童健全育成事業	北 竜 町	3,539	3,539	3,539	3,539	3,539	17,695
子育て支援センター管理運営事業	北 竜 町	7,828	7,828	7,828	7,828	7,828	39,140
和保育所運営事業	北 竜 町	32,646	32,646	32,646	32,646	32,646	163,230
和保育所施設整備事業	北 竜 町	23,578	23,578	23,578	23,578	23,578	117,890
出産祝金事業	北 竜 町	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	8,000
認定こども園保育料無償化 及び運営費補助	沼 田 町	105,347	105,347	105,347	105,347	105,347	531,735
母子健康づくり事業	沼 田 町	5,507	5,507	5,507	5,507	5,507	27,535
乳幼児等医療費助成事業・ がんばる高校生応援	沼 田 町	13,245	13,245	13,245	13,245	13,245	66,255
	合計	299,427	299,427	299,427	299,427	299,427	1,497,135

### 3 教育

#### (1) 学校教育の推進

協定の 内容	(取組の内容) 児童生徒の健全育成のため、学校教育の振興により、効果的な教育施策を推進する。
	(甲の役割：深川市) 乙と連携して、いじめ防止対策の中心的な役割を担うとともに、一部事務組合による給食施設を維持し、充実させる。 また、乙と情報を共有しながら、地域の未来を担う人材を育成する公立高等学校の魅力づくりを支援する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と連携して、いじめ防止対策に協力するとともに、一部事務組合による給食施設を維持し、充実させる。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	北空知地域いじめ問題対策専門家会議による重大事態の調査	— (平成29年度)	必要が生じたときに実施 (平成34年度)

#### ①いじめ問題対策

事業概要	いじめ防止対策基本法に基づく、教育委員会の付属機関として1市4町で共同設置した「北空知地域いじめ問題対策専門家会議」及び重大事案に対応して地方公共団体の長が設置する「北空知地域いじめ問題調査会議」により、いじめ問題に対して適切な対応を行う。
役割分担	深川市に事務局を置き、各市町は必要な経費を負担する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知地域いじめ問題対策 専門家会議	深川市	282	282	282	282	282	1,410
北空知地域いじめ問題調査会議	深川市	2	2	2	2	2	10
北空知地域いじめ問題対策 専門家会議	妹背牛町	24	24	24	24	24	120
北空知地域いじめ問題調査会議	妹背牛町	1	1	1	1	1	5
北空知地域いじめ問題対策 専門家会議	秩父別町	24	24	24	24	24	120
北空知地域いじめ問題調査会議	秩父別町	0	0	0	0	0	0
北空知地域いじめ問題対策 専門家会議	北竜町	24	24	24	24	24	120
北空知地域いじめ問題調査会議	北竜町	0	0	0	0	0	0
北空知地域いじめ問題対策 専門家会議	沼田町	24	24	24	24	24	120
北空知地域いじめ問題調査会議	沼田町	0	0	0	0	0	0
	合計	381	381	381	381	381	1,905

②学校給食施設の共同使用

事業概要	北空知1市4町で組織する「北空知圏学校給食組合」が設置した学校給食調理施設を共同利用し、安全安心な学校給食を提供する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知圏学校給食組合負担金	深川市	160,532	160,532	160,532	160,532	160,532	802,660
北空知圏学校給食組合負担金	妹背牛町	26,081	26,081	26,081	26,081	26,081	130,405
北空知圏学校給食組合負担金	秩父別町	18,241	18,241	18,241	18,241	18,241	91,205
北空知圏学校給食組合負担金	北竜町	9,874	9,874	9,874	9,874	9,874	49,370
北空知圏学校給食組合負担金	沼田町	25,594	25,594	25,594	25,594	25,594	127,970
	合計	240,322	240,322	240,322	240,322	240,322	1,201,610

③公立高等学校の維持・確保

事業概要	圏域内の中学校の卒業生の深川市内公立高校への進学を促進するため、深川市内公立高校在学学生に対して資格取得や研修、通学交通費等の支援を実施する。
役割分担	深川市が事業を推進し、各町は情報発信に努める。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
公立高等学校の魅力づくり支援事業	深川市	9,460	9,460	9,460	9,460	9,460	47,300
	合計	9,460	9,460	9,460	9,460	9,460	47,300

(2) 生涯学習の推進

協定の 内容	(取組の内容) 住民が心豊かで健やかな生活を送ることができるよう、学習や文化・スポーツの機会を提供するなど、生涯学習活動を推進する。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係団体と連携し、各種事業の実施や文化・スポーツ施設などの情報を共有して圏域内外に情報を発信する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係団体と連携し、各種事業の実施や文化・スポーツ施設などの情報を共有して圏域内外に情報を発信する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	相互利用による利便性の確保	— (平成29年度)	— (平成34年度)

①文化・スポーツ施設の相互利用

事業概要	圏域内の文化・スポーツ施設を適正に維持管理し、圏域内住民の相互利用などを推進する。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
音江広里交流館維持管理	深川市	13,489	13,489	13,489	13,489	13,489	67,445
総合運動公園体育施設維持管理	深川市	93,110	93,110	93,110	93,110	93,110	465,550
文化交流ホール施設維持管理	深川市	42,241	42,241	42,241	42,241	42,241	211,205
生きがい文化センター施設管理	深川市	91,754	91,754	91,754	91,754	91,754	458,770
アートホール東洲館管理運営等	深川市	6,164	6,164	6,164	6,164	6,164	30,820
文化財保護維持管理	深川市	3,086	3,086	3,086	3,086	3,086	15,430
総合体育館施設維持管理	妹背牛町	13,890	13,890	13,890	13,890	13,890	69,450
農業者トレーニングセンター施設維持管理	妹背牛町	753	753	753	753	753	3,765
町民会館施設維持管理	妹背牛町	7,615	7,615	7,615	7,615	7,615	38,075
カーリングホール施設維持管理	妹背牛町	12,967	12,967	12,967	12,967	12,967	64,835
北空知圏農産物学校給食等利活用促進事業	秩父別町	200	200	200	200	200	1,000
ふれあいプラザ保守管理	秩父別町	3,698	3,698	3,698	3,698	3,698	18,490
ベルパークちっぷべつ等保守管理運営	秩父別町	20,214	20,214	20,214	20,214	20,214	101,070
青年会館保守管理	秩父別町	363	363	363	363	363	1,815
生涯学習センター管理運営費	秩父別町	14,423	14,423	14,423	14,423	14,423	72,115

(次頁へつづく)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
公民館維持管理事業	北 竜 町	5,937	5,937	5,937	5,937	5,937	29,685
農村環境改善センター維持管理事業	北 竜 町	13,742	13,742	13,742	13,742	13,742	68,710
生きがいセンター維持管理事業	北 竜 町	5,414	5,414	5,414	5,414	5,414	27,070
美葉牛研修センター維持管理事業	北 竜 町	1,759	1,759	1,759	1,759	1,759	8,795
町営スキー場管理運営事業	北 竜 町	4,135	4,135	4,135	4,135	4,135	20,675
町営野球場管理運営事業	北 竜 町	5,128	5,128	5,128	5,128	5,128	25,640
ひまわりパークゴルフ場管理運営事業	北 竜 町	9,510	9,510	9,510	9,510	9,510	47,550
B&G 海洋センター管理運営事業	北 竜 町	5,434	5,434	5,434	5,434	5,434	27,170
町民体育館施設管理費	沼 田 町	8,879	8,879	8,879	8,879	8,879	44,395
スキー場管理費	沼 田 町	9,756	9,756	9,756	9,756	9,756	48,780
町民会館施設管理費	沼 田 町	7,078	7,078	7,078	7,078	7,078	35,390
生涯学習総合センター図書館施設管理費	沼 田 町	4,826	4,826	4,826	4,826	4,826	24,130
	合計	405,565	405,565	405,565	405,565	405,565	2,027,825

## ②学習活動の促進

事業概要	圏域住民の生涯学習活動を推進する。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	

## 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
市民公開講座事業	深 川 市	113	113	113	113	113	565
生きがい講座事業	妹背牛町	100	100	100	100	100	500
各種公民講座	秩父別町	150	150	150	150	150	750
ひまわり大学開催事業	北 竜 町	567	567	567	567	567	2,835
公民館講座開催事業	北 竜 町	185	185	185	185	185	925
いきいき大学事業他	沼 田 町	247	247	247	247	247	1,235
	合計	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	6,810

#### 4 産業振興

##### (1) 農業振興

協定の内容	(取組の内容) 持続可能な農業を確立するため、安全・安心・高品質の農業生産や農業の担い手育成・確保の取り組みを進める。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係機関・団体と連携し、農業の生産性の向上や農業の担い手の育成・確保などに関する事業に取り組む。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係機関・団体と連携し、農業の生産性の向上や農業の担い手の育成・確保などに関する事業に取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	農業生産額（販売額）	26,671 百万円 （平成29年度）	現状の維持 （平成34年度）

##### ①農業振興

事業概要	圏域の基幹産業である農業を持続的に発展させるため、各種の農業振興事業に取り組む。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	

##### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知広域農業協同組合連合会との連携	深川市	-	-	-	-	-	-
深川農業ステップアップ推進事業	深川市	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000
農産物等海外販路開拓事業	深川市	1,635	1,635	1,635	1,635	1,635	8,175
有害鳥獣駆除	深川市	4,014	4,014	4,014	4,014	4,014	20,070
北空知広域農業協同組合連合会との連携	妹背牛町	-	-	-	-	-	-
農業先端技術普及助成事業	妹背牛町	27,000	0	0	0	0	27,000
園芸ハウス導入支援助成事業	妹背牛町	2,744	0	0	0	0	2,744
北空知広域農業協同組合連合会との連携	秩父別町	-	-	-	-	-	-
育苗施設維持管理	秩父別町	4,309	4,309	4,309	4,309	4,309	21,545
農業経営法人化支援	秩父別町	152	3,000	3,000	3,000	3,000	12,152
園芸施設作物生産推進（ハウス導入・更新補助）	秩父別町	1,080	1,080	1,080	0	0	3,240
有害鳥獣駆除	秩父別町	100	100	100	100	100	500

(次頁へつづく)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知広域農業協同組合連 会との連携	北 竜 町	-	-	-	-	-	-
農業振興団体活動支援事業	北 竜 町	1,690	1,690	1,690	1,690	1,690	8,450
農地流動化推進員設置事業	北 竜 町	1,876	1,876	1,876	1,876	1,876	9,380
農地情報管理事業	北 竜 町	549	549	549	549	549	2,745
有害鳥獣駆除対策事業	北 竜 町	11,856	11,856	11,856	11,856	11,856	59,280
北空知広域農業協同組合連 会との連携	沼 田 町	-	-	-	-	-	-
農業所得向上対策事業（園芸 ハウス・法人化支援等）	沼 田 町	6,250	6,250	6,250	6,250	6,250	31,250
無線機購入費助成（農地携帯 不感地帯対策）	沼 田 町	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
農地流動化支援事業（公社 事業による農地購入助成）	沼 田 町	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	9,360
農地流動化推進事業（同上 直近3年）	沼 田 町	3,254	3,254	3,254	3,254	3,254	16,270
非農用地有効利用促進事業 （離農家屋解体助成等）	沼 田 町	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
有害鳥獣駆除対策事業	沼 田 町	1,782	1,782	1,782	1,782	1,782	8,910
農業総合対策室経費（農業 技術指導員報酬他）	沼 田 町	3,966	3,966	3,966	3,966	3,966	19,830
	合計	86,129	59,233	59,233	58,153	58,153	320,901

②農業の担い手育成

事業概要	圏域の基幹産業である農業を持続的に発展させるため、後継者対策、新規就農者確保対策などの事業に取り組む。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	農業次世代人材投資事業費補助金 [国費]

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
JAきたそらち担い手プロジェクトとの連携	深川市	-	-	-	-	-	-
深川未来ファーム運営支援事業	深川市	39,020	39,020	39,020	39,020	39,020	195,100
農業後継者対策事業	深川市	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440	7,200
新規就農者確保対策事業	深川市	1,148	1,148	1,148	1,148	1,148	5,740
担い手推進助成事業	妹背牛町	3,803	3,803	3,803	3,803	3,803	19,015
産業後継者新規就業支援貸付金	秩父別町	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
農業後継者奨学金貸付金	秩父別町	432	360	360	360	360	1,872
JAきたそらち担い手プロジェクトとの連携	北竜町	-	-	-	-	-	-
農業体験実習生受入事業	北竜町	841	841	841	841	841	4,205
農業後継者確保育成事業	北竜町	849	849	849	849	849	4,245
新規就農者誘致促進事業	北竜町	1,624	1,624	1,624	1,624	1,624	8,120
農業者人材育成支援事業	沼田町	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
農業新規参入推進事業	沼田町	1,995	1,995	1,995	1,995	1,995	9,975
農業研修生受入事業(研修手当、住宅費助成)	沼田町	1,648	1,648	1,648	1,648	1,648	8,240
	合計	55,800	55,728	55,728	55,728	55,728	278,712



(2) 商工・観光振興

協定の 内容	(取組の内容) 商工・観光の振興を図るため、商店街の活性化などの取り組みを進めるとともに、圏域内の観光資源を生かした広域観光を推進する。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係団体と連携し、観光メニューの開発に努めるとともに、商工・観光情報を共有して圏域内外に情報を発信する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係団体と連携し、観光メニューの開発に努めるとともに、商工・観光情報を共有して圏域内外に情報を発信する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値(調査時点)	目標値(達成年度)
	観光客入込数	263万人 (平成29年度)	293万人 (平成34年度)

①商工振興

事業概要	商工業の振興を図るため、商店街活性化などの事業に取り組む。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
企業支援・店舗改装等助成事業	深川市	3,464	3,464	3,464	3,464	3,464	17,320
企業誘致等	深川市	5,143	5,143	5,143	5,143	5,143	25,715
小売店舗等設備支援事業	妹背牛町	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
中小企業公的資金融資保証料補給	妹背牛町	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	6,280
商工振興対策事業	秩父別町	3,390	3,390	3,390	3,390	3,390	16,950
商業振興店舗等建設	秩父別町	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
スタンプ会カード印刷機更新	秩父別町	2,300	0	0	0	0	2,300
中小企業保証融資利子補給	秩父別町	141	83	45	28	13	310
中小企業保証融資利子補給	北竜町	34	34	34	34	34	170
購買力促進活性化推進事業	北竜町	2,859	2,859	2,859	2,859	2,859	14,295
商工業元気支援応援補助金事業	北竜町	500	500	500	500	500	2,500
ひと・まち・しごと育成支援事業 (起業支援・イベント・商品開発)	沼田町	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	25,000
中小企業経営安定化維持商店街活性化事業 他	沼田町	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000
合計		35,087	32,729	32,691	32,674	32,659	165,840

②観光振興

事業概要	商工業の振興を図るため、各市町で実施されている圏域内の観光資源を生かした広域観光などの事業に取り組む。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外はもとより国内外に情報を発信する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知広域観光推進事業	深川市	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000
北空知元気村スタンプラリー事業	深川市	80	80	80	80	80	400
北空知観光実践プロジェクト	妹背牛町	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000
北空知元気村スタンプラリー事業	妹背牛町	80	80	80	80	80	400
遊水公園うらら管理事業	妹背牛町	11,871	11,871	11,871	11,871	11,871	59,355
観光PR事業	妹背牛町	454	454	454	454	454	2,270
北空知元気村スタンプラリー事業	秩父別町	80	80	80	80	80	400
インバウンド受入体制整備 (タイ人雇用)	秩父別町	5,293	5,293	5,293	5,293	5,293	26,460
ローズガーデンちっぶべつ維持管理	秩父別町	26,101	26,101	26,101	26,101	26,101	130,405
観光体験牧場維持管理	秩父別町	5,433	5,433	5,433	5,433	5,433	27,165
観光PR事業	秩父別町	1,625	1,625	1,625	1,625	1,625	8,025
秩父別町観光協会負担金	秩父別町	200	200	200	200	200	1,000
北空知観光実践プロジェクト	北竜町	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000
北空知元気村スタンプラリー事業	北竜町	80	80	80	80	80	400
観光PR推進事業	北竜町	3,075	3,075	3,075	3,075	3,075	15,375
ひまわりロード作付助成事業	北竜町	1,182	1,182	1,182	1,182	1,182	5,910
ひまわり観光協会支援事業	北竜町	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	23,500
ひまわりの里維持管理事業	北竜町	16,751	16,751	16,751	16,751	16,751	83,755
ひまわりの里整備事業	北竜町	40,782	40,782	40,782	40,782	40,782	203,910
観光センター維持管理事業	北竜町	4,063	4,063	4,063	4,063	4,063	20,315
桜並木維持管理事業	北竜町	587	587	587	587	587	2,935
ノンの森維持管理事業	北竜町	2,954	2,954	2,954	2,954	2,954	14,770
金比羅公園維持管理事業	北竜町	2,991	2,991	2,991	2,991	2,991	14,955
イチイの森維持管理事業	北竜町	935	935	935	935	935	4,675
北空知元気村スタンプラリー事業	沼田町	80	80	80	80	80	400
ほたるの里歩くスキーの集い	沼田町	500	500	500	500	500	2,500
夜高あんどん継承事業	沼田町	7,230	7,230	7,230	7,230	7,230	36,150
明日萌の里フォトコンテスト	沼田町	450	450	450	450	450	2,250
活ぬまたステップアップ事業 (物産PR・観光PR)	沼田町	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	14,000
	合計	152,977	152,977	152,977	152,977	152,977	764,885

(3) 特産品の開発・普及

協定の内容	(取組の内容) 産業の振興を図るため、圏域内の地場産品等を活用した特産品の開発及び販売を促進する。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係団体と連携し、特産品の情報を共有して圏域内外に情報を発信する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係団体と連携し、特産品の情報を共有して圏域内外に情報を発信する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	圏域外物産展への出展回数	21回 (平成29年度)	42回 (平成34年度)

①特産品の開発・普及

事業概要	圏域の地産地消に関するイベントや生産者の情報を、圏域内外はもとより国内外の消費者に提供するとともに、連携してイベントなどを実施する。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外はもとより国内外に情報を発信する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
特産品普及	深川市	2,460	2,460	2,460	2,460	2,460	12,300
地域資源活用事業	深川市	4,119	4,119	4,119	4,119	4,119	20,595
深川名物応援事業	深川市	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
元気印サポート事業	深川市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
ものづくり産業振興事業	深川市	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
農産加工センター管理事業	妹背牛町	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900	19,500
消費拡大推進事業	妹背牛町	3,710	3,710	3,710	3,710	3,710	18,550
加工用トマト作付奨励助成事業	秩父別町	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	11,500
都市農村交流共生対流事業	秩父別町	500	500	500	500	500	2,500
特産品PR推進事業	北竜町	580	580	580	580	580	2,900
黒千石大豆作付奨励事業	北竜町	750	750	750	750	750	3,750
特産品栽培ハウス支援事業	北竜町	547	547	547	547	547	2,735
利雪農業推進費	沼田町	1,265	1,265	1,265	1,265	1,265	6,325
	合計	25,331	25,331	25,331	25,331	25,331	126,655

## 5 水道・衛生

### (1) 水道施設の共同使用

協定の内容	(取組の内容) 住民へ水道水を安定供給するため、上水道事業の広域経営を行う。
	(甲の役割：深川市) 乙と連携し、一部事務組合による水道施設を維持・管理する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と連携し、一部事務組合による水道施設を維持・管理する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	広域水道水供給体制の維持	— (平成29年度)	— (平成34年度)

#### ①上水道事業の広域経営

事業概要	水道用水供給事業を北空知1市4町で組織する地方公営企業「北空知水道企業団」を設置し、各市町の水道事業者に安全安心な水道水を安定的に供給する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知広域水道企業団負担金 (元利償還金)	深川市	3,981	667	0	0	0	4,698
北空知広域水道企業団負担金 (元利償還金)	妹背牛町	654	109	0	0	0	763
北空知広域水道企業団負担金 (元利償還金)	秩父別町	399	67	0	0	0	466
北空知広域水道企業団負担金 (元利償還金)	北竜町	388	65	0	0	0	453
北空知広域水道企業団負担金 (元利償還金)	沼田町	1,149	193	0	0	0	1,342
	合計	6,571	1,101	0	0	0	7,672

※北空知広域水道企業団の起債は、平成31年度を以て償還が完了するため、以降の年度において当該負担金が発生しないもの。

(2) 衛生施設の共同使用

協定の内容	(取組の内容) ごみ処理等の衛生施設の維持・充実を図るため、効率的・効果的な施設運営を行い、広域利用を促進する。
	(甲の役割：深川市) 乙と連携し、一部事務組合による衛生施設を維持し、充実させる。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と連携し、一部事務組合による衛生施設を維持し、充実させる。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	広域分担処理体制の維持	— (平成29年度)	— (平成34年度)

①ごみ処理及びし尿処理施設の共同使用

事業概要	廃棄物及びし尿処理事業を北空知1市4町で組織する一部事務組合「北空知衛生センター組合」を設置し、各市町の家庭等から排出される廃棄物及びし尿を安全に処理する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知衛生センター組合負担金	深川市	226,070	226,070	226,070	226,070	226,070	1,130,350
北空知衛生センター組合負担金	妹背牛町	23,055	23,055	23,055	23,055	23,055	115,275
北空知衛生センター組合負担金	秩父別町	17,340	17,340	17,340	17,340	17,340	86,700
北空知衛生センター組合負担金	北竜町	18,277	18,277	18,277	18,277	18,277	91,385
北空知衛生センター組合負担金	沼田町	22,887	22,887	22,887	22,887	22,887	114,435
	合計	307,629	307,629	307,629	307,629	307,629	1,538,145

②火葬施設の共同使用

事業概要	火葬業務を北空知1市3町で組織する一部事務組合「北空知葬斎組合」を設置し、各市町の火葬業務を実施する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知葬斎組合負担金	深川市	15,119	未定	未定	未定	未定	未定
火葬施設整備事業	深川市	未定	未定	未定	未定	未定	未定
北空知葬斎組合負担金	妹背牛町	2,136	未定	未定	未定	未定	未定
火葬施設整備事業	妹背牛町	未定	未定	未定	未定	未定	未定
北空知葬斎組合負担金	秩父別町	1,730	未定	未定	未定	未定	未定
火葬施設整備事業	秩父別町	未定	未定	未定	未定	未定	未定
北空知葬斎組合負担金	北竜町	1,363	未定	未定	未定	未定	未定
火葬施設整備事業	北竜町	未定	未定	未定	未定	未定	未定
北空知葬斎組合負担金	沼田町	-	未定	未定	未定	未定	未定
火葬施設整備事業	沼田町	-	未定	未定	未定	未定	未定
	合計	20,348	未定	未定	未定	未定	未定

※「北空知葬斎組合」は、平成31年3月31日に解散を予定し、翌4月1日から火葬業務を「北空知衛生センター組合」に統合するもの。(H31以降は、「北空知衛生センター組合負担金」)

## 6 防災

### (1) 災害時の相互応援

協定の内容	(取組の内容) 災害時の迅速な応急対策や被災者の救護活動など、防災体制の強化を図るため、広域による応援体制を確立する。
	(甲の役割：深川市) 災害時における職員派遣や備蓄品・資機材等の相互利用について、乙の要請に基づき、連携して災害対応にあたる。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 災害時における職員派遣や備蓄品・資機材等の相互利用について、甲の要請に基づき、連携して災害対応にあたる。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	災害時相互応援協定の履行	— (平成29年度)	必要に応じて履行 (平成34年度)

#### ①災害時の相互応援

事業概要	圏域内での災害の発生時、北空知1市4町が連携・協力し、迅速な応援対策と被災者の救護活動を実施することによって被害の軽減を図る。
役割分担	各市町が相互に協力し、迅速な応急対策と被災者の救護活動を実施する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
災害時の相互応援	深川市	-	-	-	-	-	-
災害時の相互応援	妹背牛町	-	-	-	-	-	-
災害時の相互応援	秩父別町	-	-	-	-	-	-
災害時の相互応援	北竜町	-	-	-	-	-	-
災害時の相互応援	沼田町	-	-	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-	-	-

(2) 消防体制の充実

協定の内容	(取組の内容) 消防力の維持・充実を図るため、消防体制を広域で運営する。
	(甲の役割：深川市) 乙と連携し、一部事務組合による消防体制を維持し、充実させる。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と連携し、一部事務組合による消防体制を維持し、充実させる。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値 (調査時点)	目標値 (達成年度)
	出火率 (=人口1万人あたりの出火件数)	6.59件 (平成29年度)	3.06件* (平成34年度)

※全国平均値を目標値とするもの。

①消防体制の充実

事業概要	圏域内構成市町で組織する一部事務組合「深川地区消防組合」の機能を充実し、予防体制の強化・消防施設の整備を図るとともに、消防本部業務を一元的に実施する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
深川地区消防組合(本部)負担金	深川市	65,213	65,213	65,213	65,213	65,213	326,065
深川地区消防組合(本部)負担金	妹背牛町	9,647	9,647	9,647	9,647	9,647	48,235
深川地区消防組合(本部)負担金	秩父別町	7,835	7,835	7,835	7,835	7,835	39,175
深川地区消防組合(本部)負担金	北竜町	6,576	6,576	6,576	6,576	6,576	32,880
深川地区消防組合(本部)負担金	沼田町	10,879	10,879	10,879	10,879	10,879	54,395
	合計	100,150	100,150	100,150	100,150	100,150	500,750



7 その他

(1) 消費生活相談等の対応

協定の内容	(取組の内容) 消費者被害の防止や救済を図るため、消費生活に関する苦情や問い合わせに対し、それぞれの相談内容に応じた専門相談機関の紹介、あっせん、情報提供等の取り組みを進める。
	(甲の役割：深川市) 圏域住民から深川地域消費者センターに申し出のあった消費生活相談の受付及び苦情のあっせんを行う。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 住民からの相談への対応を行い、困難なケースについては甲と連携しながら対応する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	消費生活相談の解決率	97.2% (平成29年度)	97.5% (平成34年度)

①消費生活相談等の対応

事業概要	多様化する消費者問題への的確な対応を図るため、消費生活相談員の育成に努め、消費生活相談員は、消費者教育・啓発、消費者相談（窓口・電話相談）などを行う。
役割分担	各町は、事務を深川市に委託し、深川市が事務を執行する。必要な経費を負担する。
補助制度等	消費者行政推進事業補助金 [道費]

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
消費生活事業	深川市	3,773	3,773	3,773	3,773	3,773	18,865
消費生活事業	妹背牛町	118	118	118	118	118	590
消費生活事業	秩父別町	109	109	109	109	109	545
消費生活事業	北竜町	75	75	75	75	75	375
消費生活事業	沼田町	123	123	123	123	123	615
	合計	4,198	4,198	4,198	4,198	4,198	20,990

(2) 通年雇用の促進

協定の内容	(取組の内容) 季節労働者の通年雇用の促進を図るため、国の通年雇用促進支援事業を活用した技能講習や資格取得などの支援を行う。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係機関と連携し、深川地域通年雇用促進支援協議会に参画して通年雇用促進支援事業等に取り組む。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係機関と連携し、深川地域通年雇用促進支援協議会に参画して通年雇用促進支援事業等に取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	季節労働者の通年雇用件数	62人※ (平成29年度)	30人※ (平成34年度)

※H29実績値は、2020東京オリンピック建設事業や災害復旧事業の労働者需要の影響により、H28以前の平均30人から大幅に数値が大きくなっている。今後の季節労働者総数の減を見込み、これまでの平均数を維持する目標値を設定するもの。

①季節労働者の通年雇用支援

事業概要	季節労働者の通年雇用の促進のため、北空知1市4町で連携する「深川地域通年雇用促進支援協議会」において、通年雇用支援事業を推進する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
深川地域通年雇用促進支援協議会負担金	深川市	41	41	41	41	41	205
深川地域通年雇用促進支援協議会負担金	妹背牛町	9	9	9	9	9	45
深川地域通年雇用促進支援協議会負担金	秩父別町	8	8	8	8	8	40
深川地域通年雇用促進支援協議会負担金	北竜町	6	6	6	6	6	30
深川地域通年雇用促進支援協議会負担金	沼田町	11	11	11	11	11	55
しごと未来応援プロジェクト (合同企業説明・キャリア教育)	沼田町	1,474	1,474	1,474	1,474	1,474	7,370
	合計	1,549	1,549	1,549	1,549	1,549	7,745

(3) 旅券事務

協定の内容	(取組の内容) 住民サービスの向上と事務の効率化を図るため、北海道から権限移譲を受けた一般旅券の発給申請受理・交付に関する事務を広域で行う。
	(甲の役割：深川市) 圏域住民の旅券申請の受理、審査、交付等に関する事務を管理・執行する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 住民の旅券申請の受理、審査、交付等に関する事務の管理・執行を甲に委託する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	旅券発行受託事務の継続	— (平成29年度)	— (平成34年度)

①旅券の発行

事業概要	旅券の申請受理、審査、北海道パスポートセンターへの回付、旅券の管理・交付に関する圏域内にかかる事務を一元的に行う。
役割分担	深川市は事務を執行する。 各町は事務を深川市に委任し、必要な経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
旅券事務	深川市	15	15	15	15	15	75
旅券事務	妹背牛町	54	54	54	54	54	270
旅券事務	秩父別町	34	34	34	34	34	170
旅券事務	北竜町	24	24	24	24	24	120
旅券事務	沼田町	68	68	68	68	68	340
	合計	195	195	195	195	195	975

## Ⅱ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### 1 地域公共交通

#### (1) 多様な公共交通の確保

協定の内容	(取組の内容) 日常生活における住民の移動手段を確保するため、公共交通の維持・確保と利用促進の取り組みを進める。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係機関・団体と連携し、多様な交通手段の検討と生活交通路線の維持・確保及び利用促進に取り組む。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係機関・団体と連携し、多様な交通手段の検討と生活交通路線の維持・確保及び利用促進に取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	地域間幹線系統等の路線数（自治体間運行バス）	9系統 （平成29年度）	9系統 （平成34年度）

#### ①バス路線の維持・確保

事業概要	乗合バス事業者等への支援を通じ、圏域住民の生活に必要なバス路線の維持・確保を図るとともに、多様な交通手段の検討を行う。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
公共交通確保対策事業	深川市	22,200	22,200	22,200	22,200	22,200	111,000
公共交通確保対策事業	妹背牛町	1,158	1,158	1,158	1,158	1,158	5,790
公共交通確保対策事業	秩父別町	1,285	1,285	1,285	1,285	1,285	6,425
高齢者タクシー助成事業	秩父別町	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	24,000
公共交通確保対策事業	北竜町	7,656	7,656	7,656	7,656	7,656	38,280
乗合タクシー事業補助金	北竜町	2,054	2,054	2,054	2,054	2,054	10,270
公共交通確保対策事業	沼田町	714	714	714	714	714	3,570
乗り合いタクシー事業	沼田町	8,046	8,046	8,046	8,046	8,046	40,230
町営バス運行事業	沼田町	3,718	3,718	3,718	3,718	3,718	18,590
	合計	51,631	51,631	51,631	51,631	51,631	258,155

②鉄道の維持・確保

事業概要	圏域住民の生活に必要なＪＲ留萌本線及び函館本線の維持・確保のため、各市町が連携し、検討を行う。
役割分担	各市町が必要に応じて経費を負担する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知ＪＲ留萌本線問題検討会議	深川市	-	-	-	-	-	-
ＪＲ留萌本線利用促進事業	深川市	250	250	250	250	250	1,250
北空知ＪＲ留萌本線問題検討会議	妹背牛町	-	-	-	-	-	-
北空知ＪＲ留萌本線問題検討会議	秩父別町	-	-	-	-	-	-
北空知ＪＲ留萌本線問題検討会議	北竜町	-	-	-	-	-	-
北空知ＪＲ留萌本線問題検討会議	沼田町	-	-	-	-	-	-
ＪＲ沼田駅管理経費(除雪・消耗品)	沼田町	216	216	216	216	216	1,080
	合計	466	466	466	466	466	2,330

## 2 道路等の交通インフラの整備

### (1) 交通ネットワークの形成

協定の内容	(取組の内容) 圏域内外の交通の円滑化や物流の効率化などを図るため、主要幹線道路や生活道路を整備し、道路交通ネットワークを形成する。
	(甲の役割：深川市) 乙やと連携し、主要幹線道路や生活道路の整備に向けて取り組む。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲やと連携し、主要幹線道路や生活道路の整備に向けて取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	市町道路の舗装率	59.24% (平成29年度)	59.68% (平成34年度)

#### ①期成会活動の推進

事業概要	圏域内における基幹道路等、交通インフラ整備促進のため「北海道空知地方総合開発期成会」に参画し、活動を推進する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
空知総合開発期成会負担金	深川市	358	358	358	358	358	1,790
札幌以北国土開発幹線自動車道建設促進期成会負担金	深川市	23	23	23	23	23	115
空知総合開発期成会負担金	妹背牛町	133	133	133	133	133	665
空知総合開発期成会負担金	秩父別町	125	125	125	125	125	625
高規格幹線道路深川留萌自動車道早期建設促進期成会負担金	秩父別町	11	11	11	11	11	55
空知総合開発期成会負担金	北竜町	118	118	118	118	118	590
高規格幹線道路深川留萌自動車道早期建設促進期成会負担金	北竜町	10	10	10	10	10	50
空知総合開発期成会負担金	沼田町	134	134	134	134	134	670
高規格幹線道路深川留萌自動車道早期建設促進期成会負担金	沼田町	11	11	11	11	11	55
	合計	923	868	868	868	868	4,615

### 3 移住・定住促進

#### (1) 移住・定住の促進

協定の内容	(取組の内容) 圏域の人口減少対策に資するため、圏域内外の住民との交流を促進するとともに、情報を共有して移住・定住を促進する。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係団体と連携し、移住・定住情報を共有して圏域内外に情報を発信する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係団体と連携し、移住・定住情報を共有して圏域内外に情報を発信する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	移住件数	47件 (平成29年度)	76件 (平成34年度)

#### ①移住・定住の促進

事業概要	地域の様々な魅力をはじめ、暮らし・住まいに関する情報やイベント情報などの移住・交流関連情報を発信する。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北海道空知地域創生協議会負担金等	深川市	775	775	775	775	775	3,875
移住・定住推進	深川市	2,807	2,807	2,807	2,807	2,807	14,035
北海道空知地域創生協議会負担金	妹背牛町	500	500	500	500	500	2,500
移住定住推進	妹背牛町	8,529	8,529	8,529	8,529	8,529	42,645
北海道空知地域創生協議会負担金	秩父別町	500	500	500	500	500	2,500
各種移住定住推進事業	秩父別町	21,108	21,108	21,108	21,108	21,108	105,540
北海道空知地域創生協議会負担金	北竜町	500	500	500	500	500	2,500
空き家対策事業	北竜町	7,478	7,478	7,478	7,478	7,478	37,390
定住促進対策事業(住宅建設、引越助成、通勤費助成、祝金、結婚新生活)	北竜町	5,410	5,410	5,410	5,410	5,410	27,050
民間賃貸住宅建設促進事業	北竜町	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	100,000
北海道空知地域創生協議会負担金	沼田町	500	500	500	500	500	2,500
移住定住推進(住宅建設、家賃等助成・民間賃貸住宅建設支援)	沼田町	57,271	57,271	57,271	57,271	57,271	286,355
	合計	125,378	125,378	125,378	125,378	125,378	626,890

#### 4 その他

##### (1) ICTの活用

協定の内容	(取組の内容) 住民サービスの向上と事務の効率化を図るため、行政事務の一部を電算システムにより共同処理する。
	(甲の役割：深川市) 乙の行政事務の一部を処理するために必要な電子計算機等の機器を設置、管理及び執行する。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 行政事務の一部を処理するために必要な電子計算機等の機器の設置、管理及び執行を甲に委託する。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	戸籍総合システム共同利用の継続	— (平成29年度)	— (平成34年度)

##### ①戸籍総合システムの共同利用

事業概要	戸籍の登録や証明書の発行などを電子情報処理装置で処理し、正確で迅速な証明書の発行などの対応を行う。
役割分担	深川市は事務を執行する。 各町は事務を深川市に委任し、必要な経費を負担する。
補助制度等	

##### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
戸籍総合システム運用	深川市	60,250	9,679	9,679	9,679	9,679	98,966
戸籍総合システム運用	妹背牛町	7,995	1,799	1,799	1,799	1,799	15,191
戸籍総合システム運用	秩父別町	7,809	1,672	1,672	1,672	1,672	14,497
戸籍総合システム運用	北竜町	7,485	1,542	1,542	1,542	1,542	13,653
戸籍総合システム運用	沼田町	7,815	1,920	1,920	1,920	1,920	15,495
	合計	91,354	16,612	16,612	16,612	16,612	157,802



### Ⅲ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### 1 人材育成

##### (1) 人材の育成

協定の 内容	(取組の内容) 活力と魅力に満ちたまちづくりに資するため、圏域内住民の人材育成を進める。
	(甲の役割：深川市) 乙や関係機関と連携し、青少年や社会人等の人材育成情報を共有して人材育成事業に取り組む。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲や関係機関と連携し、青少年や社会人等の人材育成情報を共有して人材育成事業に取り組む。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	子ども会リーダー養成講習会参加者数	46人 (平成29年度)	50人 (平成34年度)

##### ① 青少年のリーダー育成

事業概要	圏域の将来のまちづくりを支える、青少年の人材育成を圏域で連携して実施する。
役割分担	各市町が必要な経費を負担する。
補助制度等	

##### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
子ども会リーダー養成講習会	深川市	46	46	46	46	46	230
北空知シニアリーダー研修会	深川市	12	12	12	12	12	60
青少年海外派遣事業・交換留学事業	深川市	2,416	2,416	2,416	2,416	2,416	12,080
子ども会リーダー養成講習会	妹背牛町	35	35	35	35	35	175
北空知シニアリーダー研修会	妹背牛町	61	61	61	61	61	305
子ども会リーダー養成講習会	秩父別町	20	20	20	20	20	100
北空知シニアリーダー研修会	秩父別町	60	60	60	60	60	300
子ども会リーダー養成講習会	北竜町	-	-	-	-	-	-
北空知シニアリーダー研修会	北竜町	40	40	40	40	40	200
子ども会リーダー養成講習会	沼田町	30	30	30	30	30	150
北空知シニアリーダー研修会	沼田町	40	40	40	40	40	200
	合計	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760	13,800

②社会人の人材育成

事業概要	圏域のまちづくりを支える、社会人の人材育成を圏域で連携して実施する。
役割分担	各市町において施策を推進し、その情報を共有するとともに、圏域内外に情報を発信する。
補助制度等	

《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
人材育成事業	深川市	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	7,000
地域づくり人材育成事業	北竜町	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
	合計	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	12,000

## 2 職員の情報交換等

### (1) 職員の情報交換等

協定の 内容	(取組の内容) 職員の資質向上と職員間のネットワークを強化するため、職務・分野別の情報交換や調査研究等の取り組みを進める。
	(甲の役割：深川市) 乙と連携し、圏域職員を対象に職務・分野別の情報交換や調査研究等の会議を開催するなど、その中心的な役割を担う。
	(乙の役割：妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町) 甲と連携し、圏域職員を対象に職務・分野別の情報交換や調査研究等を行う。

重要業績 評価指標 (KPI)	指標	現状値（調査時点）	目標値（達成年度）
	北空知圏振興協議会企画 調整部会の開催数	3回 (平成29年度)	3回 (平成34年度)

#### ①職員の情報交換・調査研究・研修

事業概要	北空知圏振興協議会の担当課長による企画調整部会において情報交換・調査研究を行うとともに、職員研修を行う。
役割分担	各市町が必要な経費を負担するほか、施策を推進し、情報を共有する。
補助制度等	

#### 《個別事業費》

(千円)

各主体 事業名	事業主体	H30	H31	H32	H33	H34	合計
北空知圏振興協議会負担金	深川市	712	712	712	712	712	3,560
職員研修	深川市	1,443	1,443	1,443	1,443	1,443	7,215
北空知圏振興協議会負担金	妹背牛町	211	211	211	211	211	1,055
職員研修事業	妹背牛町	182	182	182	182	182	910
北空知圏振興協議会負担金	秩父別町	194	194	194	194	194	970
職員研修	秩父別町	1,322	1,322	1,322	1,322	1,322	6,610
北空知圏振興協議会負担金	北竜町	184	184	184	184	184	920
職員研修事業	北竜町	2,361	2,361	2,361	2,361	2,361	11,805
北空知圏振興協議会負担金	沼田町	229	229	229	229	229	1,145
職員研修事業	沼田町	798	798	798	798	798	3,990
	合計	7,636	7,636	7,636	7,636	7,636	38,180

## 資 料

I. 定住自立圏共生ビジョン策定経過 .....	52
II. 定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱 .....	53
III. 定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿 .....	54

I. 定住自立圏共生ビジョン策定経過

年 度	内 容												
平成 21 年度	4 月 1 日 定住自立圏構想推進要綱 施行												
平成 23 年度	7 月 29 日 空知地方総合開発期成会が国に対し、中心市要件の緩和等を盛り込んだ要望書を提出（以降、毎年要望）												
平成 26 年度	11 月 19 日 北空知圏振興協議会 5 市町長が総務省地域力創造審議官に対し、「定住自立圏構想に関する要望書」を提出												
平成 28 年度	11 月 15 日 北空知圏振興協議会 5 市町長が総務省地域自立応援課長に対し、「定住自立圏制度の見直しに関する要望書」を提出												
平成 29 年度	10 月 5 日 定住自立圏構想推進要綱の一部改正の施行（人口等について平成 27 年国勢調査の数値を用いる）により、北空知圏域が該当 12 月 20 日 北空知圏振興協議会において定住自立圏構想の推進を合意 3 月 1 日 深川市議会第 1 回定例会において中心市宣言 3 月上中旬 各市町議会において、定住自立圏形成協定の締結等に関する議決条例の制定又は一部改正について議決												
平成 30 年度	5 月 30 日 北空知圏振興協議会において定住自立圏形成協定内容を承認 6 月中下旬 各市町議会において定住自立圏形成協定の締結について議決 (各市町の議決日) <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">深川市</td> <td style="padding: 0 10px;">6 月 26 日</td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">妹背牛町</td> <td style="padding: 0 10px;">6 月 20 日</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">秩父別町</td> <td style="padding: 0 10px;">6 月 14 日</td> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">北竜町</td> <td style="padding: 0 10px;">6 月 20 日</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;">沼田町</td> <td style="padding: 0 10px;">6 月 18 日</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 6 月 28 日 北空知 定住自立圏形成協定 合同調印式 8 月 2 日 北空知定住自立圏共生ビジョン懇談会（第 1 回）開催 8 月 29 日 北空知定住自立圏共生ビジョン懇談会（第 2 回）開催 9 月 19 日 北空知圏振興協議会において共生ビジョン（案）を協議 9 月 20 日 共生ビジョン（案）パブリックコメントの実施 ～10 月 19 日 10 月 24 日 北空知定住自立圏共生ビジョン懇談会（第 3 回）開催 10 月 29 日 北空知定住自立圏共生ビジョン策定	深川市	6 月 26 日	妹背牛町	6 月 20 日	秩父別町	6 月 14 日	北竜町	6 月 20 日	沼田町	6 月 18 日		
深川市	6 月 26 日	妹背牛町	6 月 20 日										
秩父別町	6 月 14 日	北竜町	6 月 20 日										
沼田町	6 月 18 日												

## Ⅱ. 定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱

### (設置)

第1条 深川市は、定住自立圏形成協定により形成された北空知の将来像及び当該協定に基づき推進する具体的な取組内容等を記載する定住自立圏共生ビジョンの策定に関して、関係者等の意見を反映するため、北空知定住自立圏共生ビジョン懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

### (所掌事項)

第2条 懇談会は、次に掲げる事項について検討を行う。

- (1) 北空知定住自立圏共生ビジョンの策定又は変更に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、懇談会の目的を達成するために必要な事項

### (組織)

第3条 懇談会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、定住自立圏形成協定に関連する分野の関係者等の中から、市長が委嘱する。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (座長及び副座長)

第5条 懇談会に、座長及び副座長を各1人置く。

2 座長は委員の互選により定め、副座長は座長が指名する委員をもって充てる。

3 座長は、会務を総理し、懇談会を代表する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるとき、又は座長が欠けたときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 懇談会の会議は、座長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

3 委員は、懇談会の会議に代理人を出席させることができる。

4 座長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を出席させ、説明又は意見を求めることができる。

### (事務局)

第7条 懇談会の事務局は、深川市企画総務部企画財政課に置く。

### (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に必要な事項は、座長が会議に諮って定める。

## 附 則

### (施行期日)

1 この要綱は、平成30年7月1日から施行する。

### (経過措置)

2 この要綱の施行後、最初に委嘱される北空知定住自立圏共生ビジョン懇談会の委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成32年3月31日までとする。

Ⅲ. 定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

【委嘱期間：平成30年8月2日～平成32年3月31日】

No.	市町名	所属名	役職	氏名	区分	備考
01	深川市	拓殖大学北海道短期大学	教授	川眞田 政夫	教育	座長
02	深川市	一般社団法人 深川医師会	事務長	高田 智之	医療	
03	深川市	深川市保健推進委員会	副会長	本田 幸子	医療・福祉	
04	深川市	深川観光協会	専務理事	川端 政幸	産業振興	
05	深川市	きたそらち農業協同組合	総務部長	佐藤 一久	産業振興	
06	妹背牛町	妹背牛町社会福祉協議会	事務局長	田湯 勝則	福祉	
07	妹背牛町	妹背牛町社会教育委員の会	委員	辻 五月	教育	
08	秩父別町	秩父別町社会福祉協議会	事務局長	藁口 洋次	福祉	副座長
09	秩父別町	秩父別町商工会	事務局長	三浦 輝夫	産業振興	
10	秩父別町	北いぶき農業協同組合	管理部長	藤村 秀昭	産業振興	
11	北竜町	北竜町町内会長連絡協議会	会長	佐藤 健一	防災・他	
12	北竜町	北竜町民生委員協議会	会長	藤谷 隆紀	福祉	
13	沼田町	沼田町自治振興協議会	副会長	絵内 勝己	防災・他	
14	沼田町	沼田町商工会	事務局長	吾子 博明	産業振興	

(敬称略)

---

---

北空知定住自立圏共生ビジョン  
平成30年10月29日策定

深川市企画総務部企画財政課企画係  
〒074-8650 北海道深川市2条17番17号  
TEL：0164-26-2246  
FAX：0164-22-8134

---

---